

高校生の探究的な学びを育てる学習環境の工夫 ～「新書による情報活用」「学校周辺地域の調査活動」をもとに～

北海道教育大学函館校
准教授 山口好和

今年度の「高大接続」事業について、ここでは函館西高校との共同研究にしばって報告を行いたい。年度の変り目から報告書作成時点(2021年1月)までに実施した、地域を活かす探究型学習の研究概要と成果を簡単に紹介する。

2020年3月末に、函館西高校「探究部」教員、本学教職大学院教員、附属函館小学校教員、本センター教育協働部門メンバーの間で、次年度の「探究活動」カリキュラムについて協議を行った。そこでの課題は、1学年240名の生徒が、地域理解を進め言語能力、情報活用能力を培うための学習内容・活動の具体化、学年進行にそったカリキュラム構造の明瞭化、また生徒の自己有用感や達成感、課題解決力の向上を支援する手だての追究などであった。なお2019年度成果の一部は、本学教職大学院研究紀要第10巻においても報告をしている(「地域と校内でともに支え合う『探究』カリキュラムー函館西高校の『探究 学びかたをつくる』の挑戦ー」)。

まず1学期(6月から7月)にかけて、函館西高校2年生の「探究活動」カリキュラムで行ったのは、文献資料における情報活用の練習である。

年度当初、休校の影響で殆ど研究協議ができなかったが、6月の学校再開直後に「探究学習」の教材作成、授業構成を準備する必要に迫られた。また当初2年生が計画していた、学校周辺地域に赴いての調査活動が一切不可能となったために、学校内でもできる「情報活用」のト

レーニングとして、新聞記事スクラップの要約、各ジャンルの「新書」を利用した文献資料講読の練習を行った。「探究部」担当教員と本学教員(センター員、サポート学部生)との共同で、学年全体に配布する新聞記事の見出し一覧や要約のサンプルなど関連教材を作成した。本学でも初年次教育の一科目として「アカデミック・スキル」を開講しているため、それらの内容を、函館・道南や北海道内の地域理解を促す新聞記事から拾い上げ、生徒たちがゆっくりと読み取る機会とした。

地域の学校支援という点で非常に充実した事業であったが、同時に、本学が元来掲げている高校までの学習成果や関心・経験をふまえた大学教育のあり方を探る上でも、非常に有益な共同作業となった。

夏休みをはさんで2学期には、1年生の「探究学習」支援に携わった。

今年度1年生の学習は「学校の周辺を探究しよう」という主題で、博物館、美術館などの生涯学習機関をはじめボランティア団体、自然環境・ペットの保護活動団体、教会や市電車庫など、約20人ずつ全部で14のグループに分かれて見学、調査を行うものである。そのうち本センターでは、教育や子育て関連の話題に関心のある生徒が22人集まり、その探究活動を支援することとなった。

高校の担当教員(1年学年主任)との協議から、教育問題に対する漠然とした関心をより具体的な実践現場に即して考えてほしいと思い、

高校周辺の小学校3校に依頼して小学生向けの掲示資料(絵本案内、教科書の面白さ、函館の魅力)を作成することとした。また実際に小学校を訪問して、簡単な交流の機会を設ける活動も盛り込んだ。1年生の探究活動は、高校で年間行事の一つとして計画のある宿泊研修とも連動しており、そこでの情報集約作業にも同行して、活動成果のまとめ方について直接的な指導を行った。担当した高校生との会話からは、活動の充実度がうかがえた。

なお今回の「探究学習」のサポートには、本学3年生、2年生が5名参加していた。以下の感想は、当該学生が寄せたものである(一部)。

- ・大学生の立場から、高校生の学びを間近で見て生の声を聞くことが有益だった。函館には教育大を含めて複数の高等教育機関があるので、それらの教育資源や機能の中継拠点として上手に利用できれば良い。
- ・函館西高校「探究活動」で取り組む内容が学部の授業(「アカデミックスキル」)と関連しており、高校生の時には実感が薄かった「要約」の有用性、情報収集の手法を俯瞰的に見ることができた。長い目で見れば、高校生の段階でこのような経験を積むことで今後の学習に生きてくる。自分自身についても、取材や記録のスキル向上(写真や動画撮影)の貴重なトレーニング機会になった。

(補足)

本センター教育協働部門では上述の共同研究以外にも、市立函館高校との地域学習支援や高校教員との懇話会などを学内関係者が個別に実施している。それらの総括的な実績報告については稿を改めたい。

(謝辞)

函館西高校との共同研究は本センターにおける継続事業ではありますが、とりわけ今年度は教材作成、生徒の活動支援や地域関係機関との連携に関して多大なご理解、ご協力を賜りました。この場をお借りして深謝申し上げます。



「探究活動」で学習に取り組む函館西高校の生徒たち